

*The 90th Annual Concert*  
*DOSHISHA GLEE CLUB*



*1994.12.20 (Tue)*  
*The Symphony Hall.*

協賛 大和銀行合唱団



Clarke Memorial Hall

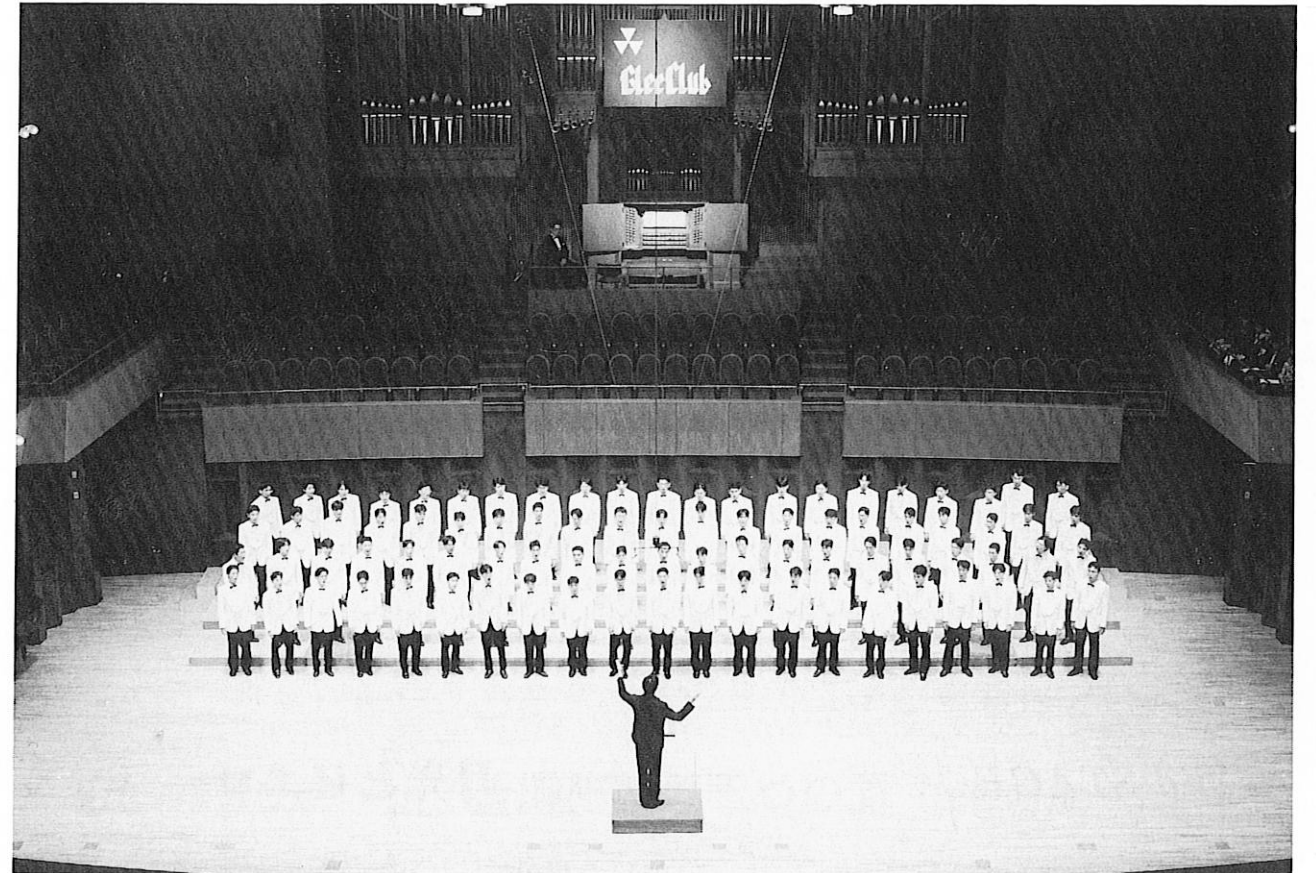
### *Doshisha College Song*

*One purpose Doshisha, thy name  
Doth signify one lofty aim  
To train thy sons in heart and hand  
To live for God and Native Land  
Dear Alma Mater sons of thine  
Shall be as branches to the vine  
Thro' through the world we wander far and wide  
Still in our hearts thy precepts shall abide*

*Still broader than our land of birth  
We've learned the oneness of our Earth  
Still higher than selflove we find  
The love and service of mankind  
Dear Alma Mater sons of thine  
Would strive to live the life divine  
That we may with increasing years have stood  
For God, for Doshisha and Brotherhood*

## 第90回 同志社グリークラブ定期演奏会

1994年12月20日(火) ザ・シンフォニーホール



### 御挨拶

本日はお忙しい中、同志社グリークラブ第90回定期演奏会にお越し下さいまして、誠にありがとうございます。  
今年には創部90周年にあたります。長い同志社グリークラブの歴史の中で90周年という節目の年に定期演奏会を持てるのは、たった4年間しか活動出来ない私達にとって、非常に幸運な事であります。しかし、時には90年の長い歴史故に情性に陥り、伝統に流され、大きな不安や疑問を持たざるを得ませんでした。その度ごとに私達は、“聴衆の方々と共に感動する”という原点を見つめなおし、苦難を乗り越え、音楽に真正面から取り組んで参りました。また、歌に対する愛情を原動力として、厳しい練習を重ね、それに耐えてきたつもりです。今宵は、日頃の練習成果と私達の歌に対する愛情とが上手くかみ合って、“聴衆の方々と共に感動”出来れば、私達にとってこれ以上の喜びはございません。同志社グリーはこの90周年を、100周年の第1ステップと考え、長い伝統に寄りかかる事なく、常に次元が高く、新しい音楽に取り組んで行こうと思っております。

最後になりましたが、今日まで私達を熱心に御指導下さいました諸先生方、日頃多くの御援助を頂いております諸先輩方、その他御協力頂きました関係各位に、心から御礼申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。

同志社グリークラブ幹事長 荒川 剛

**DOSHISHA College Song**

作詩 : W.M.Vories  
作曲 : Carl Wilhelm

**1st STAGE**

作曲 : F. P. Tosti  
編曲 : 北村 協一  
指揮 : 長谷川宏志  
ピアノ : 長田 育忠

**トスティー歌曲集**

1. Aprile
2. Ideale
3. La Serenata
4. L'ultima Canzone
5. Addio!

**2nd STAGE**

作詩 : 堀口 大學  
作曲 : 清水 脩  
指揮 : 伊東 恵司

**男声合唱組曲 月光とピエロ**

- I. 月夜
- II. 秋のピエロ
- III. ピエロ
- IV. ピエロの嘆き
- V. 月光とピエロとピエレットの唐草模様

**— INTERMISSION —****3rd STAGE**

指揮 : 本山 秀毅

**心の響き | 現代の宗教音楽**

- Kyrie (作曲 Sven - David Sandström)  
Alleluia (作曲 Randall Thompson)  
De Profundis (作曲 Kaj - Erik Gustafsson)  
Golgotha (作曲 Emil Cossetto)  
Sanctus (作曲 Winfried Siegler - Legel)

**4th STAGE**

作詩 : 新川 和江  
作曲・指揮 : 石丸 寛  
ピアノ : 小澤 るみ  
ソプラノ : 日紫喜恵美

**新川和江の三つの詩 (新作初演)**

1. やがて五月 (『青春詩編』より)
2. 火へのオード3 (『火へのオード16』より)
3. はね橋 (『はね橋』より)



同志社総長  
松山 義 則

本日同志社グリークラブ定期演奏会が、音楽を愛する多くの方々のご出席を得て開催されますことを心からうれしく存じます。

同志社は1875年新島襄が山本覚馬と J. デイヴィスの助けを受けて祈りのうちに創立された、キリスト教主義教育を基本とする歴史と伝統をもつ学園であります。同志社創立までには、幾重もの困難が先生の前にはたかりましたが、深い信仰とあふれる情熱にささえられた先生は、苦勞のすえ、それらの障害をのりこえられたのであります。わが国に一つのキリスト教主義大学を創設するという先生の願いは多くの人びとによって受け継がれ、100年を超える歳月にわたって、自治、自由、良心に生きる若き人びとの集うところとなりました。

同志社グリークラブも本年創立90周年を迎えました輝かしい伝統をもつ学生合唱団であります。グリークラブは、献身的な諸先輩の努力によって築きあげられました。団員の諸君はこのすばらしい伝統を受け継ぎ、21世紀にむけさらなる発展を期して日々研鑽を積み、皆さまのあたたかいご支援をいただいておりますことは大きなほこりと存じます。

なお、同志社グリークラブは来年2月ヨーロッパへ演奏旅行を行います。文明の発祥地に赴き、同志社の教育理想の原点に立ち帰る良い機会であります。いままでの海外における豊富な演奏活動経験を生かして、国際交流の文化使節として大いに活躍されるものと確信しております。

今宵は、団員の心を込めた演奏に心耳を傾けていただき、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。



同志社グリークラブ顧問  
澁谷 昭 彦

この演奏会は、同志社グリークラブが創立90周年を迎えたことに合わせて第90回の定期演奏会ということになっている。また、先日は、OBともども90周年記念演奏会および祝賀会を盛大に催した。このこと自体は、まことに結構なことであり、喜ぶべきことであつた。しかし、同志社グリークラブの歴史は、果たして90年ということによいのだろうか。

グリークラブの創立は、1904（明治37年）、つまり、今から90年前のこと、初代指揮者（初代グリー顧問）の片桐哲先生が始められたと伝えられている。礼拝で宗教曲を歌ってきた聖歌隊が一般曲も歌うようになり、聖歌隊のより広範な活躍を願ひ、これに合致する名前をとということで、グリークラブと名付けられた。

グリークラブの前身は、よくいわれるように、聖歌隊である。だとすれば、グリークラブ創立は聖歌隊の発生時にすべきだと思う。さらにルーツをたどれば、同志社創立の開校礼拝で新島襄はじめ8名の学生によって讃美歌が歌われた時点にまで遡るともいえる。したがって、グリークラブの創立は、同志社創立と同時にあり、今年グリーは「創立90周年」ではなく、「創立119周年」を迎えたことになる。

「90周年」は「グリークラブと命名後90年」のことであり、したがって、グリーは「創部119周年、グリークラブ命名90周年」となる。

勿論、歴史が古いだけで満足すべきではない。歴史と伝統、守るべきものは守り、乗り越えるべきものは乗り越え、新たな伝統を築き上げる努力を絶えず怠ってはならない。定期演奏会は、同志社グリークラブの同志社グリークラブたることを存分にアピールする場である。自らの存在意義、アイデンティティを問い、それをどこまで明確に提示することができるか、大いに期待している。



同志社グリークラブ  
OB会会長  
松村 時 男

90年の伝統、

第90回という大きな節目の定期演奏会を開催されるグリークラブの諸君に、心からお祝いの言葉を贈りたい。栄光ある90年の伝統を誇り、その集大成とも言うべきこの演奏会、思う存分に歌い同志社グリークラブの真髄を披露してくれる事と期待している。

20世紀がやっと始まったばかりの1904年、すなわち90年前、ダブル・カルテットにも満たない少人数の讃美歌合唱隊が結成され同志社グリークラブの輝かしい第一ページが開かれた。「一粒の種」と片桐先生が表現されたこの小さなグリークラブも、諸先輩の努力と諸先生の良き指導、また四大学・六大学の良きライバルに恵まれ今日大きく開花したと言うものの、その道程は決して平穩なものでは無かった。大正時代には既に旧満州・朝鮮へ演奏旅行を果たし、一見順風満帆なスタートに見えたが、昭和12年頃より、合唱活動もすっかり軍国調のものとなり、〔希望の島〕が唯一心の安らぎの合唱曲であつたらしく、戦争が激しくなるに従いグリークラブの活動はやがて中止されるに至った。悲惨な戦争が終わり平和が訪れるやグリークラブは再発足されたが、終戦直後の演奏旅行は、布団替わりのムシロと薩摩芋を担いでの大変な旅行であつたらしい。また学園紛争の頃は、学校がロックアウトされ構内に入ることもかなわず、当然クラブ活動も満足に行われなかった。このような苦難の時代を乗り切ることができたのも、好きな合唱を通して、神を賛美する心の拠り所をグリークラブに見いだせたからであり、同じような背景を持った合唱団は他に多くあるまい。恵まれた歴史と伝統の中で、君達は大いに誇りを持ち、今後ますます切磋琢磨し、より大きい目標に向かって進んでほしい。私自身、昭和35年卒業まで四年間グリークラブに所属できたことを、今更のごとく感謝している。青春のすべてをグリークラブに打ち込み、その時に得た友人は30年を経た今でも、我が生涯最良の友であり、また我が家族にとっても、最も親しき人達となっている。最後に片桐先生の言葉を贈りたい。〔君達はグリークラブの終身大学院とも言うべきクローバークラブへ進学し、楽しいグリー生活を続けるのである。又グリークラブは同志社学園が永久に続く限り、永久に進展する団体である。光栄ある過去を追想すると共に、更に一層将来の堅実なる発展の為に全力を傾けて努力し、そのために祈らねばならない。〕

熱き心の雄叫びを！ 迸る青春の輝きを！

今こそ貴方に伝えたい！！



63rd  
関西学院グリークラブリサイタル

1995・1・15（日）東京：昭和女子大学人見記念講堂

1995・1・29（日）大阪：フェスティバルホール

お問い合わせ先：関西学院グリークラブ（Tel/Fax）0798-52-6471

チケットぴあ・阪急・阪神・フェスティバルホールの各プレイガイド

首都決戦 第44回東西四大学合唱演奏会  
1995・6・17(Sat)昭和女子大学人見記念講堂

慶応義塾 早稲田

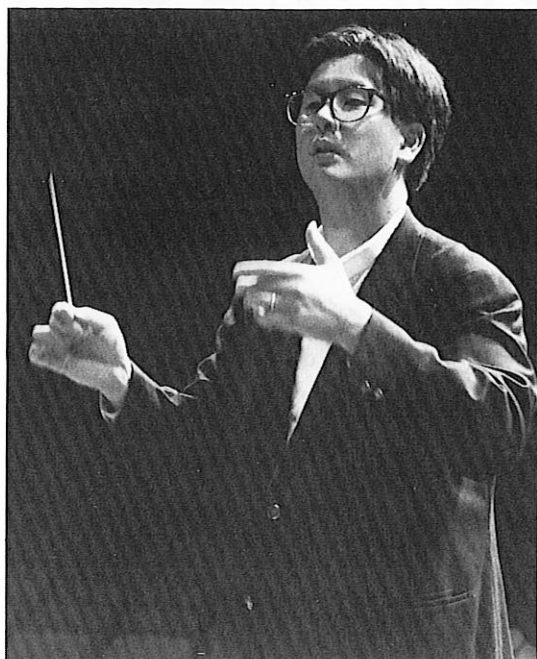
そして

同志社 関西学院

第15回同関交歓演奏会  
1995・6・25(Sun)フェスティバルホール

凱旋

お問い合わせ： 関西学院グリークラブBOX(0798)52-6471(呼) / 同志社グリークラブBOX(075)251-3185(呼)



客演指揮者

## ／ 本山 秀毅

京都市芸術大学声楽部声楽専修卒業。西ドイツ国立フランクフルト音楽大学合唱指揮科に留学。1987年同大学を卒業。帰国後はバッハを主とする宗教音楽を中心に演奏活動が続ける。1988年仙台で開催された「日本バッハアカデミー」ではヘルムート・リリンクのアシスタントをつとめる。関西では解説を伴ったカンタータの演奏会「ゲシュプレヘスコンサート」を定期的に開催し、教会音楽の多角的な理解を目指している。これまでに「ロ短調ミサ」「ヨハネ受難曲」「クリスマスオラトリオ」はじめ数多くのバッハの作品を演奏する。

1991年秋にはクリストファー・ホグウッドの演奏会の合唱指揮をつとめる。また各地で合唱指導法の講師としてその普及にも努めている。

指揮をヘルムート・リリンク、ヴォルフガング・シェーファー、ウーベ・グロノスタイの各氏に師事。音楽を蔵田裕行、中村和男、佐々木成子の各氏に師事。

現在、同志社女子大学、大阪音楽大学、同志社大学神学部講師。京都バッハ合唱団主宰。

6月に「東西四連」で演奏した。今日、お越しの皆さんの中にも聴いておられた方も多いと思うので、演奏のことはとやかくいわない。皆さんなりの評価もおありになったであろう。終えた瞬間、自分では練習でやったことはまとまったような感触があった。お客さんも喜んでいただいていたようだった。演奏会が終わって、家内が楽屋に来た。声、音楽、ハーモニーすべてにわたって辛辣な批評をいただいた。何もそこまでと思うくらい。しかし彼女に悪意はなかった。身内からしかなかか本当のところは聞けない。「裸の王様」にならないためのありがたい抑止力である。もっとも彼女は以前六連を聞きに来ていて、6つ続く男声合唱に頭痛がして途中で帰った経歴の持ち主であったが。

あとで「大成功!」「ありがとうございます!」と喜ぶメンバーの声が空しく回りで響いた。

このことでグリークラブの演奏に対する教訓を1つ得た。「去年の定演より」「いつの代と比べて」「どこの団と比べて」常にそういう相対的なとらえかたに陥ってはいないか。クラブだからある程度は仕方がない。しかし音楽においては当然であるが、良い演奏は、誰が、いつ、先入観なしに聴いても優れているのであり、比較を前提に考えているのではないのである。特にグリークラブに対してはワクにとらわれない柔軟な発想で演奏に取り組みかねばと考えさせられた。今日のステージでは、是非今までのワクにとらわれない伸びやかな演奏を期待している。また、同志社グリークラブは来年欧州演奏旅行に出かける。メンバーにとっても、既製の価値観を打ち破るまたとない機会にしてほしい。

本山 秀毅



客演指揮者

## ／ 石丸 寛

1922年 中国青島（チンタオ）に生まれる。幼児より音楽、美術を学ぶ。

1938年 帰国。東京都玉川学園中学部に転入。

1944年 文化学院大学芸術科卒。美術を今泉篤男・協田和・岡鹿之助に師事。一方では、管弦楽法と指揮法を山田一雄に師事。第2次大戦のため、出征。

1945年～ 終戦。帰国。画家としての活動を再開。火野葦平の主宰する九州文学に参加。演劇、バレエ等の美術、音楽を担当。

1948年～ 九州大学フィルハーモニーオーケストラの再興に寄与。福岡の音楽文化に、オーケストラ、コーラスを通じて大きな影響を与える。

1953年 九州交響楽団を創立。初代常任指揮者を努める。

1954年 東京交響楽団を日比谷公会堂において指揮し、楽壇にデビュー。以後ブラームスの連続演奏会などで話題になる。この年、カラヤン初来日の際、特に選ばれて、NHK交響楽団において同氏のレッスンを受ける。

1955年以降 N響、日フィル、読響、東フィル、大阪フィル、名古屋フィルなど各地の交響楽団を指揮、コンサート、レコーディング、放送などに活躍。

1974年以降 ロンドン、エジンバラ、ジュネーブ、チューリッヒ、ウィーン、ハイデルベルク、カンヌ、中国北京などにおける演奏で好評を博す。

アカデミックなコンサート活動が続ける一方、日本のバーンスタインと呼ばれるほどの、企画、作曲、編曲、指揮をしながらの解りやすい解説などで親しまれ、自らの企画によるTV番組『題名のない音楽会』を10年間指揮し、クラシック音楽を親しみやすいものとしての普及に努め、20年間続けた『ネスカフェ・ゴールドブレンドコンサート』では、地方交響楽団の育成、発展に情熱的に取り組み、そこから育ったオーケストラの多くは、ヨーロッパ、アメリカ、中国などへも演奏活動を広げるまでになっている。

FM放送『石丸寛・オーケストラの世界』では、クラシック音楽を楽しく紹介して好評を博した。

また一貫して青少年のオーケストラ鑑賞にも力を注ぎ、数多くの青少年のためのコンサートを手がけ、現在、『クロネコヤマト音楽宅急便 おしゃべり好きなコンサート』のレギュラーとして指揮活動を続け、全国的にクラシックのファン層を拡げている。

ほかに、料理番組や『日曜美術館』、トーク番組などへの出演と、幅広い活躍で、異才ぶりを発揮している。

一方では美術を愛し続け、学生時代から国展（国画会）に連続入選し、現在も東京、福岡、静岡などで個展を開いている。

著書に『それゆけオーケストラ!』（中公文庫）『棒ふりラブソディ』（音楽之友社）など。

東京交響楽団評議員、文化庁国民文化祭企画委員及び実行委員、玉川大学客員教授。

## 美しい詩に励まされて

新川和江さんとは長いおつき合いをしている。非常にお若い時に結婚なさったようで、その前後から、純粋な『愛』を謳った詩が生まれている。今でもそうだが—— 彼女の詩はいつも私を泣かせてしまう。感動のあまり、熱いものがこみ上げてきて、ほんとに涙することが多い。他の芸術でもそうだが、技術的に巧みな詩人は多い。しかし新川さんの詩は、この世のものとは思えない純粋な人間性に貫かれている。

この夏、例年になく忙しさが続き、秋に入ってから海外でのコンサートが連続して、さしもの元気印の私も、とうとう病いにふせてしまった。高熱と闘いながら、新川さんの詩の素晴らしさに励まされて、最後の一曲が完成したのはこのコンサートの一ヵ月前を既に切っていた。同志社グリークラブの皆さんには心からお詫びを申しあげたい。ソプラノの日紫喜さんはバーンスタインのオペレッタ『キャンディード』の主役で素晴らしい音楽性を称賛された人、また小澤みさんは桐朋音大の出身で、将来を嘱目されている若きピアニストである。



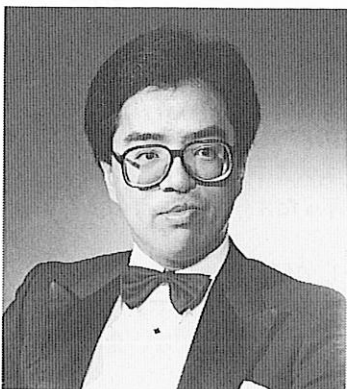
ヴォイストレーナー / 大久保 昭 男

メッセージ

今宵は第90回記念定期演奏会を堂々と迎えられ、心よりおめでとくと申し上げます。  
 ついこの間、私がヴォイストレーナーを始めてから30年が過ぎたと思えば、同志社グリーは既に創部90年が経っていたんですね。本当に月日が経つのは早いものだと感じます。90年の間には、合唱コンクールの出場、故福永陽一郎先生との出会いと別れ等、様々な出来事があったであろうと思われまます。しかし、同志社グリーがその長い間に亘って失わずに持ち続けているものがあります。練習に対するそのひたむきな態度、全身で立ち向かうパワーにはいつものことながら驚かされます。レッスンをしているときも、私の言うことを非常に熱心に聞いてくれる姿を見て、私自身大きな喜びを感じています。  
 これからもグリーの諸君が、本ものの音楽への探究を続けてくれることを願ってやみません。

プロフィール

1953年、東京芸術大学声楽科卒業。矢田部勲吉氏に師事。近衛秀磨指揮、青山杉作演出によるオペラ「カルメン」のモラレス役でデビューの後、山田耕筰作曲、本人指揮のオペラ「黒船」、ドヴォルジャークのオペラ「ルサルカ」(初演)などにも出演。1959年には、ドイツ・リートおよび日本歌曲による第1回リサイタルを開く。現在、昭和音楽大学短期大学部教授として教鞭をとられる一方、慶應ワグネル、関西学院グリー、同志社グリー、明治大学グリー、法政大学アカデミー合唱団、立教大学グリーをはじめとする大学のトップクラスの合唱団のヴォイストレーナーとして、関東、関西で幅広く活躍されている。



ピアノ / 長 田 育 忠

メッセージ

過日の関西合唱コンクールで、ある大学合唱団の指揮者に「学生指揮者賞」が贈られた。プロの音楽家の指揮で演奏した団体も幾つかある中で、彼らは健闘し合唱団としても好成績を残したのだが、その後の表彰式で、合唱団が入賞した事以上にその学生指揮者の受賞を喜び合うメンバーの姿を見て、私までうれしく感じたものである。

同志社グリークラブの定期演奏会ではここ数十年、ほぼ毎年のように学生指揮者と共演させて頂き、その年ごとに個性の違う彼らの音楽作りをいつも興味深く感じている。プロの音楽家の仕事の中でもとりわけいへんな指揮者の役割を、ほとんど経験のない人がこなしてゆくのだから、さぞかしいろいろな苦労がある筈だが、彼らは本当によく努力していると思う。もちろん技術的、音楽的には未完成であっても、それを補って余りある情熱を彼らの音楽には感じるし、それこそがグリークラブの魅力だと私は思っている。

全国の数多くの大学合唱団の中で、同志社グリークラブほど指揮者に恵まれたクラブがどれくらいあるだろうか。四半世紀以上に亘りご指導頂いた福永陽一郎先生は4年前惜しくも天に召されたが、その後も毎年錚々たる第一線級の指揮者を迎え、レベルの高い演奏をしている。でも、年間何百時間という練習のほとんどは学生だけで行われていることを考えると、学生指揮者にはどうかこれまで以上に頑張って欲しいと思う。

今年は同志社グリークラブ90周年、その歴史は言うまでもなく、先輩諸氏の90年間の気の遠くなるような時間の練習の積み重ねにほかならない。今後どんな学生指揮者が現れるのかを楽しみにしつつ、これからもグリーンメンと共に多くの素晴らしい音楽体験ができることを願っている。

プロフィール

同志社大学法学部政治学科卒業。  
 ピアノを山下啓子、遠山つや、松野景一、山崎孝、ジョルジ・ナードル、H・ピュイグ＝ロジェの諸氏に師事。歌曲伴奏法をルドルフ・ヤンセン氏に師事。またオルガンをジャン・メルオー神父に師事。  
 主に音楽・合唱音楽等の伴奏者として演奏活動を続けるほか、宗教音楽のオルガニストとしても数多くの演奏会に出演するなど幅広く活躍。  
 1986年2月、ボストン交響楽団京都公演にスタッフとして参加。  
 1986年6月、90年1月、91年1月にリサイタルを開催。  
 社団法人全日本ピアノ指導者協会正会員。



ピアノ / 小 澤 る み

プロフィール

9才よりピアノを始める。1982年第36回全日本学生音楽コンクール西日本大会高校の部入賞。88年第14回フランス・リスト国際ピアノコンクール入賞。桐朋学園大学、ウィーン国立アカデミーに学び、これまでに下村和子、中島和彦、紅林こずえ、ワルター・ロベルト、ローランド・ケラーの各氏に師事。88年4月にシンフォニーホールで関西フィルと協演。  
 現在、伴奏者、オーケストラの鍵盤奏者として活躍している。

プロフィール

京都市立芸術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修了。1986年度文化庁芸術家国内研修員。1987年京都市芸術大学第1回大学院賞受賞。1988年日本モーツァルト音楽コンクール第1位、併せて洗足学園前田賞金賞受賞。1989年日本音楽コンクール第2位入賞。1989年度オーストリア政府給費留学生としてザルツブルク・モーツァルトウムに、1990年度ロータリー奨学生としてミュンヘン国立音楽大学にそれぞれ留学。1991年バルセロナ国際コンクールではライトソプラノ賞受賞。1992年リサイタルに対し第1回青山音楽賞受賞。1993年第10回ベルギー国際声楽コンクール (Verviers) 第2位。オペラは1987年「魔笛」の「夜の女王」役でデビュー。以後、「ドン・ジョヴァンニ」「リゴレット」「セヴィリアの理髪師」などに出演。各種演奏会においてもソリストとして数多く出演。N響モーツァルトシリーズや日生劇場オペラなど、東京、愛知などでもデビュー。華麗なテクニックと清純な歌声を持つコロラトゥーラソプラノとして、現在その活躍が最も注目されている。関西二期会会員。



ソプラノ / 日紫喜 恵 美

メッセージ

“音楽”が“言葉”を見つけた時、“歌”は始まります。メロディーは詩を想い、進ったり、さざめいたり。詩は、その身を預け、ふくらませ、醗酵ささせます。新しく生まれてくるもの。やわらかに色づき、香り、やがて生き生きと息づく。この中に身をまかせるのは、どんなに素敵なことでしょうか。

素晴らしい歌に出会うと、どんなに難しいパッセージも、長いフレーズもちっとも苦にならなくなります。それはきっと“歌”の中に途方もないエネルギーが潜んでいるから。

歌は息なり、息は命なり。とは私の恩師の言葉ですが、初めて出会う、詩人の新川和江先生と作曲の石丸寛先生のエネルギーをいただいて、同志社グリークラブの皆様と一緒に、心のふるえを息にのせて会場のすみずみまで、共鳴させることができると思っております。このような機会をお創り下さった皆様に心から感謝いたします。さあ“歌”いましょう！

## トスティー歌曲集

フランチェスコ・パオロ・トスティ

1846年4月9日、フランチェスコ・パオロ・トスティは、商人だった両親のもとにアブルツィのオルトーナ・スル・マーレで生まれた。最初は生地でヴァイオリンを学び、後に声楽教師をする傍ら、多くの歌曲を発表し、1916年12月2日、ローマにおいて70歳の生涯を閉じた。

トスティは、生涯を通じて歌曲を愛し、イタリアの近代歌曲の創造に尽力し、イタリア語のみならず、フランス語、英語による歌曲を作曲した。それまでのイタリア歌曲と言えば民謡ばかりで、ともすれば通俗曲の枠から脱し切れないうままであったが、彼はそれを芸術歌曲の水準にまで引き上げた唯一の作曲家である。彼の作品は抒情的なものでありながらも情熱的で、崇高な美をも感じさせるものとなっている。

四月 (Aprile) 作詞 R.E.パリアーラ

春のそよ風を思わせる軽やかな前奏のアルペジオに乗って上品で甘く柔和な旋律が湧き起こってくる恋の思いを歌う。「四月！それは愛の季節」と呼びかけるこの曲は、聴く者に浮きたつような春への憧れを感じさせずにはおかないだろう。

理想のひと (Ideale) 作詞 C.エリーコ

ひとりぼっちの寂しい部屋で、物思いに沈む青年の、去って行った理想のひとへの熱い想いを込めたこの歌は、終始三連符の伴奏にのったトスティならではの甘美な旋律にあふれ、トスティの歌曲の中でも最も格調高い作品として名高い。

セレナータ (La Serenata) 作詞 G.A.チェザーレオ

トスティといえばこの曲の名がまずあげられるほど有名な歌である。

セレナータとは夜に恋人の窓辺で歌う愛の歌を指している。ギターの手弾き調の伴奏は軽快かつ情熱的な雰囲気を感じさせているのに対し、途中の転調が甘美な効果をあげている。

最後の歌 (L'ultima canzone) 作詞 F.チンミーノ

明日嫁いで行くかつての恋人に対しての別れの曲であり、短調と長調との対比によって、あきらめきれない男の複雑な心情を切々と歌っている。

さらば (Addio!) 作詞 G.T.ホワイト＝メルヴィル 伊訳 F.リッツェッティ

元来はW.メルヴィルによる英語詩に作曲されたものであるが、F.リッツェッティのイタリア語訳で歌われることのほうが多い。「夏よ、希望よ、そして愛する人よ、永遠にさらば」と歌われるこの曲は、別れの悲しみが情熱と甘美さとをはらんでゆき、劇的なクライマックスを迎える。



指揮者 長谷川 宏志

プロフィール

1972年、岡山県生まれ。年少の頃からクラシック音楽に親しみ、同志社大学入学後、その分野を合唱へと広めるべくグリークラブに入部。今年1月に第63代学生指揮者に選出され、2月のフェアウェルコンサートにおいて「フォスター作品集」を指揮し、指揮者デビューを飾る。普段は非常に物静かで、まるで眠ったままでのような表情をしているが、一旦指揮をはじめると、その眼は見開かれ、うちに秘めた音楽性と闘志がひしひしと部員に伝わってくるのである。

トスティは六連の再演であるが、今宵はどのような演奏を聴かせてくれるだろうか。

1. Aprile  
Non senti tu ne l'aria  
il profumo che spande Primavera?  
Non senti tu ne l'anima  
il suon di nova voce lusinghiera?  
È l'April! è l'April!  
È la stagion damore!  
Deh! vieni, o mia gentil.  
Su 'pratin fiore!

Il pie trarrai fra mammole.  
avrà su 'l petto rose e cilestrine,  
e le farfalle candide  
t'aleggeranno intorno al nero crine  
È l'April! è l'April!  
È la stagion d'amore!  
Deh! vieni, o mia gentil.  
Su 'pratin fiore!

2. Ideale  
Io ti seguui com'iride di pace  
lungo le vie dei cielo:  
Io ti seguui come un'amica face  
de la notte nel velo.  
E ti sentii ne la luce. nel'aria,  
nel profumo dei fiori:  
efu piena la stanza solitaria  
di te. dei tuoi splendori.

In te rapito. al suon de la tua voce  
lungamente sognai:  
e de la terra ogni affanno, ogni croce  
in quel giorno scordai  
Torna, caro ideal. Torna un istante  
a sorridermi ancora:  
e a me risplenderà nel tuo sembiante  
una novell'aurora.

3. La Serenata  
Vola. o serenata:  
La mia diletta è sola:  
e, con la bella testa abbandonata.  
posa tra le lenzuola:  
O serenata, vola.  
Splende pura la luna.  
l'ale il silenzio stende.  
e dietro i veli dell'alcova bruna  
la lampada s'accende.  
Pura la luna splende.  
Vola. o serenata, vola.

Vola. o serenata:  
La mia diletta è sola:  
ma, sorridente ancor mezzo assonnata.  
torna fra le lenzuola:  
O serenata, vola.  
L'onda sogna su 'l lido.  
e 'l vento su la fronda:  
e a' baci miei ricusa ancora un nido  
la mia signora bionda.  
Sogna su 'l lido londa.  
Vola. o serenata, vola.  
Ah! là Ah! là.

1. (四月)  
春が吹き散らす香りを  
大気の中に感じないか  
新たな誘いの声が  
魂の中に聞こえないか  
四月だ、四月だ  
恋の季節だ  
さあ、おいで、花咲く野に、  
ああ私の優しい女よ

貴方が童のあいだに足を運び、  
薔薇とアヤメの花を胸に飾れば、  
真白い蝶は黒髪を回りを  
飛び回るだろう  
四月だ、四月だ、  
恋の季節だ、  
さあ、おいで、花咲く野に、  
ああ私の優しい女よ

2. (理想のひと)  
僕は天の道に沿って  
平和の虹のようなあなたを追った  
僕は夜の帳の中で  
優しい松明のようなあなたを追った  
僕は光の中、大気の中、  
花々の香りの中にあなたを感じた  
そして寂しい部屋は  
あなたで、あなたの輝きで一杯だった

僕はあなたに心を奪われ、長いあいだ  
あなたの声を夢見ていた  
そしてその日には  
この世のすべての苦しみを忘れた  
帰って来ておくれ、いとしい理想の女よ、  
ひと時でも、また僕にほほえむために  
そうすればあなたの姿の中にふたたび  
僕にとっても新たな暁が輝くことだろう

3. (セレナータ)  
飛んで、セレナータ  
いとしい女はたった独りで、  
美しい頭を持たせ掛けて  
ベッドに休んでいる  
さあセレナータよ、飛んで行け  
月は清く輝き、  
沈黙はその翼を拡げ  
暗い寝室の帳のうしろに  
灯が点る。  
月は清く輝く  
飛んで、セレナータ

飛んで、セレナータ  
いとしい女はたった独りだ  
だが、まだなかなばどろんでほほえみつつ、  
ベッドに帰って来る  
さあセレナータよ、飛んで行け  
彼は渚で、  
風は小枝で夢を見る  
私の金髪の女は今なお  
私の口づけが渠くうのを拒んでいる  
彼は渚で夢を見る  
飛んで、セレナータ  
ああ、そこに ああ、そこに

4. L'ultima canzone  
M'han detto che domani.  
Nina, vi fate sposa,  
ed io vi canto ancor la serenata!  
L'a nei deserti piani,  
l'a nei la valle ombrosa,  
oh quante volte a voi l'ho ricantata!  
"Foglia di rosa,  
ofiore d'amaranto,  
Se ti fai sposa,  
io ti sto sempre accanto."

Domani avrete intorno  
feste, sorrisi e fiori,  
nè penserete ai nostri vecchi amori.  
Ma sempre, notte e giorno.  
piena di passione,  
Verrà gemendo a voi la mia canzone:  
"foglia di menta,  
o fiore di granato,  
Nina, rammenta  
i baci che t'ho dato!"

5. Addio!  
Cadon stanche le foglie al suol,  
bianche strisce serpon sull'onda,  
lieve nebbia nell'ara fonda,  
Sembran freddi i rai del sol.  
Le rondinelle lasciano il nido,  
Verso altro lido le trae desio:  
Estate, addio! Estate, addio!

Una voce lontan lontan,  
"Odi e impara" sembra gridare,  
"Non diverso dall'oggi e il doman,  
gioia e duolo, polve ed altare"  
Ogni legame mortal si spezza,  
copre l'oblio flele e dolcezza:  
O speme, addio! O speme, addio!

Perche' aspetta' tuttor, oh! dolce amor?  
Un sol bacio mi dà. poscia ten va.  
Un altro ancor, un altro ancor.  
pegno d'etemo fe da te voglio,  
perche il tuo cor è fatalmente mio:  
Per sempre addio! Per sempre addio!

4. (最後の歌)  
ニーナ、君はあす  
花嫁になるそうだね  
でも僕はまだセレナータを取うのだ  
人気の無い野や  
繁った谷間で  
ああ何度君に歌ったことか  
薔薇の葉、  
鶏頭の花、  
君が結婚してくれたら  
僕はいつも傍にいる

あす君は賑わしさとほほえみと花々に  
取り囲まれ、  
僕たちの昔の愛のことは考えないだろう  
だが、いつでも、夜も昼も、  
情熱に満ちた  
僕の歌の響きが届くだろう  
薄荷の葉、  
柘榴の花、  
ニーナよ、君にした口づけを  
思い出しておくれ

5. (さらば)  
木の葉は寝て地に落ち、  
白い霧が波間にうねり、  
かすかな霧が深い大気を浸し、  
陽の光りも寒々としている  
燕は巣をあとにし、  
望みに駆られて他の岸辺に引き寄せられる  
夏よ、さらば、夏よ、さらば

遠い遠い声がかんているようだ、  
くお聞き、そしてよく覚えておいて、  
喜びと悲しみ、塵埃と祭壇は  
きょうもあすも変わりはない  
この世の絆はすべて断ち切れ、  
忘却が苦しみも甘美さも覆ってしまう  
ああ希望よ、さらば、ああ希望よ、さらば

どうしてくずくずしているの、ああいとしい人よ  
一つだけ口づけしてから立ち去ればいいのに  
もう一つ、もう一つ  
貴方の心は宿命的に私のものだから、  
永遠の証の証しが欲しい  
永遠にさらば、永遠にさらば

## 男声合唱組曲 月光とピエロ

### — 陽ちゃんはみ空に —

音楽家の小部屋は、亡くなったときそのままに乱雑に散らかっていた。10,000枚を越えると思われるレコードと書籍、楽譜を整理しながら、私は部屋の片隅から「月光とピエロ」の楽譜を拾い出した。何の書き込みもない新しい楽譜である。その横に編曲用のキーボードが主人の帰りをまつ愛犬のようにおとなしく置かれたままになっていた。福永陽一郎に触れ、その生きざまから音楽そのものを感じ取った人は余りに多かった。しかし、計らずも「見あげてごらん夜の星を」を別れの曲に選んだまま福永陽一郎は私たちのもとから去っていったのだ。

1989年、38回東西四大学合唱演奏会で福永陽一郎は同志社グリーンクラブとの30年もの付き合いの総決算として「月光とピエロ」を指揮した。私は幸運にも学生指揮者として男声合唱の基本とも言えるこの組曲の下振りをすることが出来た。福永陽一郎はすでに5、6年に渡って人工透析を続けているという身体であったが、思い立ったように「『ピエロ』をやろう・・・」と言った。

そして、私には小さくこう呟いた。

「最近、音楽が体から溢れるようになってきたんだよ」

単純な和音だけで成り立っているこの曲を歌い込むことは、複雑なリズムやアンサンブルを克服していくことよりも随分難しい。学指揮としてのキャリアも浅かった私は詩を読み、楽譜を見、取り敢えず、福永陽一郎の指示通りの練習をすることで精一杯だった。しかし、困難を乗り越えると、合唱はかつて無い音の輝きを極め、後に福永陽一郎自身をして「音楽の理想郷ができた・・・」と言わしめるものになった。6月の東京文化会館の演奏会では、「堀口大學の詩と清水修の曲と福永陽一郎の音楽作りが渾然となって理想の境地に達した」と評された。小林研一郎が走り寄って来て、「先生、フルトヴェングラーになったんじゃない・・・」と絶賛したことを、先生自身が子供のように喜んで何度も私に話してくれた。

詩の中に刻み込まれているベンシズムや暗い抒情性がどのような音の配列、調性になって表現されているか、ということは下振りとして随分勉強になったし、どうしてこの曲がこれ程歌われても尚美しい輝きを失わないのかという事は存分に思い知らされたような気がする。しかし、忘れもしないフレーズは「悲しからずや、身はピエロ、月のやもめの父なし子・・・」という詩に続く4曲目の3拍子、「月はみ空に身はここに・・・月はみ空に身はここに・・・」の繰り返しである。

この時、福永陽一郎の細い、今にも折れそうな身体から、指先から、腕の振り下ろしから、表情から・・・音楽そのものが溢れてくるのを感じた。

3拍子で歌われる一片の詩のかけらからは、冴え切った映像だけでなく、寒さや、痛みや、身悶えするような寂しさや、惨めさや、諦めや、それでも生きているという安心感や、やさしさや、不可思議さが理屈や言葉では説明出来ない音楽の塊として紡ぎ出されていたのだ。私は思わず歌いながら泣き出しそうになっていたのだ。

あれから5年、「ピエロ」をやりたいんです・・・と現役が相談に来たときは本当に冗談を言っているのかとさえ思った。「月光とピエロ」が、中身の濃い難曲である事を十分よく知っていたのと、これを同志社グリーンが演奏するとなれば、指揮者は『福永陽一郎』しかいないじゃないか、という潜在的な拘りの気持ちが心の中にあっただけであろう。

結局、話は急転回して、私自身に指揮の依頼があったのだが、この事は、身近な存在である私に対して、「陽ちゃんの話をしてよ・・・」という学生からの要望なのではないかと思った。そして、その要望の中には学生が無意識のうちに蓄積させてしまっている精神的支柱を渴望する気持ちを感じたのだ・・・。

未熟な私には、伝道者としての役割さえ、一体どれくらいの事が果たせるかは分からない。ただ・・・グリーンクラブを見守る空からのあたたかい視線を信じ、学生と一緒に力一杯歌うこと・・・陽ちゃんの苦笑いを感じられるような、ひたむきな音楽を作ること・・・。たくさんの事を思い出し・・・、それから全ての事を忘れ、思い切って久しぶりのグリーンの舞台上に立つ積もりである・・・。



指揮者 伊東 恵司

### プロフィール

1986年同志社大学に入学し、ポストモダン芸術論を専攻。同志社グリーンクラブ第58代学生指揮者として、故福永陽一郎に師事し、絶大な信頼を受けると共に、欧州演奏旅行をはじめ、同関交歓演奏会や東西四連、定期演奏会などで数々の名演奏を披露し活躍。

卒業後、母校同志社大学職員として勤務する傍ら、後輩の相談役、指導を行い、フェアウェルコンサートや夏期演奏旅行などでも指揮を務める。昨秋のアメリカ演奏旅行では、ボストンシンフォニーホールで[Missa: O magnum mysterium]を指揮し好評を博するなど「頼りになる先輩」として、現役から厚い信頼を受けている。

今回、5年ぶりの定期演奏会再登場である。

現在、「淀川混声合唱団」、「NCなにわコラリアーズ」指揮者。

### 月光とピエロ

作詩 堀口 大學  
作曲 清水 脩

#### I 月 夜

月の光の照る辻に  
ピエロさびしく立ちにけり。  
ピエロの姿白ければ  
月の光に濡れにけり。  
あたりししみじみ見まわせど  
コロンビイヌの影もなし。  
あまりに事のかなしさに  
ピエロは涙ながしけり。

#### II 秋のピエロ

泣き笑いしてわがピエロ  
秋じゃ！秋じゃ！と歌うなり。  
Oの形の口をして  
秋じゃ！秋じゃ！と歌うなり。  
月のようななる白粉の  
顔が涙を流すなり。  
身すぎ世すぎの是非もなく

おどけたれどもわがピエロ  
秋はしみじみ身に滲みて  
真実なみだを流すなり。

#### III ピエロ

ピエロの白さ！  
身のつらさ！  
ピエロの顔は  
真白け！  
白くあかるく  
見ゆれども  
ピエロの顔は  
さびしかり！

#### IV ピエロの嘆き

月の光は  
さびしかり！  
かなしからずや身はピエロ、

#### V 月光とピエロと

ピエレットの唐草模様

月の嬬の父無児！  
月はみ空に身はここに、  
身すぎ世すぎの泣き笑い！

月の光に照らされて  
ピエロ、ピエレット  
踊りけり、  
ピエロ、ピエレット。

月の光に照らされて  
ピエロ、ピエレット  
歌いけり、  
ピエロ、ピエレット。

踊りけり、  
ピエロ、ピエレット。  
歌いけり、  
ピエロ、ピエレット。

踊りけり、  
ピエロ、ピエレット。  
歌いけり、  
ピエロ、ピエレット。

月の光に照らされて  
ピエロ、ピエレット。  
月の光に照らされて  
ピエロ、ピエレット。



## こころの響き | 現代の宗教音楽

本山 秀 毅

### 曲目解説

プログラムの1曲目は、スウェーデン現代作曲家サンドストロームが1984年に作曲した「3つの男声合唱による小品」から、第1曲目の「キリエ」を演奏する。この組曲は3曲からなり、ミサのテキストをもつ第1曲目、3曲目と、新約聖書によるテキストをもつ第2曲目が組み合わされている。

「キリエ」はミサの中でも最も平明で、しかも印象的な内容と響きをもつテキストである。「主よ、あわれみたまえ」が何度も繰り返されることによって、一種の恍惚状態が生まれ、原始キリスト教の時代の信仰の雰囲気と呼び起こす。

それぞれの声部は簡潔な書法で書かれ、伝統的な教会音楽のひびきを模したとも言えるが、微妙な音のぶつかり合いが新鮮な和音を生み、聴きとれるものは多分に現代的である。

第2曲目の「アレルヤ」はアメリカの作曲家ランダル・トンプソンによって1940年に作曲され、パークシャー音楽院のセルゲイ・コウセヴィッキー教授に捧げられたものである。

「アレルヤ」は「ハレルヤ」とも訳され、賛美の言葉として聖書や宗教音楽に幾度となく登場するテキストである。そのテキストのもつ明快な印象とは対照的に、音楽は深く沈潜した雰囲気から始められる。全編「アレルヤ」のみのテキストで通される音楽であるが、その曲想の豊かさ、ハーモニーの多彩さはテキストの単調さを補って余りある。そしてこの音楽ただ1度のみのクライマックスに向かって大きな盛り上がり形を形作っていく様は見事である。

第3曲目は、フィンランド現代作曲家グスタフソンが1975年に作曲した「デ・プロフンディス（深き淵より）」である。この曲は、昨年ドイツで開催された全ドイツ合唱コンクールで、男声合唱部門で第1位になったリンブルグ男声合唱団が取り上げていたものであった。

テキストは旧約聖書の詩編第130編よりとられた有名なものである。昨年も同志社グリーの定期演奏会でこのテキストを主題にプログラムを組んだのを覚えていらっしゃる方もおられるかと思う。

この音楽では「深き淵より」という言葉のもつ重みが、3和音を違った調性で同時に用いることによって効果的に表現されている。ここでも第1曲目と同様、「主よ（ここではラテン語の《Domine》）」という呼び掛けがトーンクラスターの書法で劇的に現れる。伝統的に終わりに歌われる栄光頌は、それまでの不協和音が影を潜め、非常に美しく穏やかに響く。そして意識的に再度「深き淵より」のテキストを用い美しい協和音を響かせた後、最後に不協和音を残すのが、聴き手に複雑な印象を与えるのである。

第4曲目の「ゴルゴダ」はイタリアの作曲家エミール・コセットが1963年に作曲したものである。「ゴルゴダ」というまでもなくイエスが十字架にかけられた場所の名で、キリスト者にとっては独特の思いを呼び起こす響きをもつ言葉である。しかしこの「ゴルゴダ」での出来事がなければ、イエスの復活も人々への救いもなかったことを考えると、非常に重要な事件と言わなければならない。音楽は黒人霊歌を思わせるような激しい曲想を持ち幾度となく繰り返される「ゴルゴダ」「十字架につけよ」「おお主よ」などのテキストの中に、イエスの十字架刑の様子が描かれるドラマティックなものである。

第5曲目の「サンクトゥス」はドイツの現代作曲家ヴィンフリート・ズィーグラー・リーデルが1975年に作曲したものである。「サンクトゥス」は旧約聖書のイザヤ書の天使の歌に由来するミサのテキストである。本来「天使の歌」の醸す印象から女声を用いられることが多いのだが、珍しいことにこの曲は男声合唱がオリジナルである。大勢の声が呼び交わす様が描かれた後、フーガ風に音楽が展開する。最後は「サンクトゥス」の言葉が3連符のメリスマによって歌い継がれる中を、「ホザナ・インエクセルシス（いと高きところにホザナ）」の歌詞がドイツの有名なコラール旋律「Vom Himmel hoch（「高き天より」賛美歌第101番）の旋律に乗って感動的に現れる。

### Kyrie

Kyrie, eleison,  
Christe, eleison.  
Kyrie, eleison.

主よ、あわれみたまえ。  
キリストよ、あわれみたまえ。  
主よ、あわれみたまえ。

### Alleluia

ハレルヤ

### De Profundis(PS.130)

De profundis clamavi, ad te Domine;  
Domine, exaudi vocem meam.  
Fiant aures tuae intendentes  
In vocem deprecationis meae.

### 深き淵より（詩篇 第130篇）

主よ、私は深い淵からあなたに呼ばれる。  
主よ、どうか、わが声を聞き、  
あなたの耳をわが願いの声に傾けてください。

Si iniquitates observaveris, Domine,  
Dimine, quis sustinebit?  
Quia apud te propitiatio est;  
Et propter legem tuam sustinui te, Domine.

主よ、あなたがもし、  
もろもろの不義に眼をとめられるならば、  
主よ、だれが立つことができますか。  
しかしあなたには、ゆるしがあるので、  
人に恐れがしまわれるでしょう。

Sustinuit anima mea in verbo ejus;  
Speravit anima mea in Domino.  
A custodia matutina usque ad noctem,

わたしは主を待ち望みます、わが魂は待ち望みます。  
そのみ言葉によって、わたしは望みをいただきます。  
わが魂は夜回りが暁を待つにまさり、  
夜回りが暁を待つにまさって主を待ち望みます。

Speret Israel in Domino;  
Quia apud Dominum misericordia,  
Et copiosa apud eum redemptio.  
Et ipse redimet Israel  
Et omnibus iniquitatibus ejus.

イスラエルよ、主によって望みをいだけ。  
主には、いつくしみがあり、  
また豊かなあがないがあるからです。  
主はイスラエルを  
そのもろもろの不義からあがなわれます。

Gloria Patri et Filio et Spiritui Sancto :  
Sicut erat in principio et nunc et semper  
Et in saecula saeculorum Amen.

### Golgotha

Hosianna gegrüßet,  
Hosianna rufen wir,  
wir grüßen dich o König,  
O Herr wir folgen dir  
hosianna, Herr und König!  
Cruciate!  
Gekreuzigt!  
Cruciate rufen wir,  
ans kreuz soll man ihn schlagen,  
wir meinen diesen hier,  
zu dem sie König sagen!  
Cruciate!  
Was sie auch immer riefen!  
Wenn sie zu sammenliefen  
Es kam zum gleichen Ende  
Sie wuschen ihre Hände  
O Herr! Hosianna, gegrüßet!  
Cruciate, gekreuzigt!  
Du ginst nach Golgatha,  
ist hier der Weg zu Ende,  
der Weg nach Golgatha,  
dir bluten Haupt und Häude!  
Hosiana cruciate  
Golgatha!

### ゴルゴダ

ホザナ、  
ホザナ、わたしたちは叫ぶ。  
ユダヤ人の王ばんざい  
おお、主である、われらが王よ  
われらはあなたに従い行きます。

十字架につけよとわれらは叫ぶ。  
われらはここで  
われらが打ち付けるべき十字架を思い、  
王に向かってこう言ったのだ。

「もしあなたが共に行くのなら  
何と叫び続けるのか」

終わりの時は間もなく近づく  
そして彼の手を洗うのだ。

汝が歩んだゴルゴダへの道は  
終わりへの道  
ゴルゴダへの道は汝の血塗られたこうべと手。

### Sanctus

Sanctus, Sanctus,  
Sanctus, Dominus Deus sabaoth!  
Pleni sunt coeli et terra gloria tua.  
Hosanna in ex excelsis.

聖なるかな、聖なるかな  
聖なるかな、万軍の神なる主。  
主の栄光は天地にみつ。  
天のいと高きところにホザナ。  
ほむべきかな、主の名によりて来る者。  
天のいと高きところにホザナ。

## 新作初演／新川 和江の3つの詩



## 新川 和江

「私たちの耳にはまだ聞きとられていない音楽が、宇宙いっぱいに瀰漫しているように思えてくる。

そうして〈美〉とは、その音楽もさることながら、それを聞きとろうとして耳を傾ける心のうごき—運動のほうにあるのだと、言いたくなってくる。

詩も一篇の作品としてかたちをなす前の作者の心の運動のほうに、いきいきとした詩があるように思う。ためらわずにそれを私は〈美〉と呼ぶことにする。」

—— エッセイ『吊るしの服』新川和江より抜粋 ——

年譜から推察される彼女の幼年時代は、おそらく彼女自身の回想とは別にそれ程明るさに満たされていたわけではないだろう。極貧の中の農民生活の上、実の弟妹の他に異母兄弟が三人いたこと。十歳で父を失っていることも含めて、彼女の中に屈折した自己形成を強いたのではないかと考えられるふしは多分にある。その屈折が新川和江の中で抒情的な感性となって育まれてゆくのであるが、それは同時に内面的に故郷喪失を深めてゆく課程でもあったのではなかろうか。十七歳で結婚し、事実上故郷を離れていることが、一層その喪失を本質的なものにしたとみて大過あるまい。おそらく彼女は、大人の成熟した眼で故郷を見直す機会を得られぬまま結婚生活の中で、孤独な抒情の営みをはじめなければならなかった。それが抒情の方向を決定づけたのである。

ところで、故郷に代わって彼女の内的な秩序を支配したものが、彼女の作品の中において比喩となって表れ出てくる。この比喩されるところは彼女自身の世界であり、比喩でありながらも、それらは濃密な実在感を有している。それらを生ぜしめるものは、彼女の内に人間を超えた大きな存在、人間の小さかき愛憎を超えた慈悲と呼ぶほかはない。きびしく澄みきって高い思念なのである。そうして読者は、人間を超えた大きな存在の慈悲のような光に浸み通られて、幸福感を味わうのである。

参考文献／花神社「新川和江」

## プロフィール

昭和四～（1929～）詩人。茨城県結成市生まれ。結城高女在学時西條八十に師事。多様な愛の形態を日常的な言語でたくみにとらえ、歯切れのよいリズムにのせながら詩的空間をかたちづくる。「地球」「山の樹」同人の五十八年、吉原幸子と女性誌「ラ・メール」創刊。詩集に『睡り椅子』『ローマの秋・その他』『比喩でなく』その他。随筆集『草いちご』など。

—— エナジー小事典『日本の詩人』から ——

## 新川和江の3つの詩

作詩 新川 和江  
作曲 石丸 寛

## やがて五月

やさしい歌をうたってあげよう  
疲れた男たち 年老いたひとたち 子どもたち  
鉄と コンクリートの帯で  
街が がんじがらめに縛られようと  
帰っていく家の窓には息づく灯があり  
女たちにはまだ あたたかいくちびるがあると  
やさしい歌をうたってあげよう  
鳥たち 魚たち うすい翅もつ昆虫たち  
日に日に 立ち並ぶ高層建築が  
スモッグの空にするどくつき刺さろうと  
かなたには さざめきながら流れる川があり  
みどりのいのちを噴きあげる大地があると  
やさしい歌をうたってあげよう  
森かげのシダたち 木たち 花々たち  
暗い季節は いつでも少しばかり長すぎ  
光の郵便はいつでも遅配がちだが  
天の深みには（時）の車を操る大いなる手があり  
かがやかに美しい月 五月をこしももたらすと

## 火へのオード3

たいまつをかざして  
あの一歩は走ってくるのでしょうか  
わたしの火を駆け抜けるとき  
わたしのうちらがあかあかと明るくなるのは  
わたしが歴史を読んだのは  
その火のあかりによってです  
世界のひびきを聞きとったのも  
その火のはげる音によって  
それよりなにより  
火はわたしに つぶさに見せてくれました  
ほかならぬわたし自身をてらし出して  
わたしの在処 わたしのありようを  
ながあい くらあい  
トンネルなのでした わたしは  
あの一歩は回送電車のように からっぽになって  
夜明けの野を遠ざかります  
わたしは一緒に駆け抜けて  
眩しいそとへ 出てゆくような気がします  
へびが春 新しくなるとき  
自分の中をすっきり通ってゆくように  
はるかな森の火の泉から  
あの一歩はその火を運んでくるのです  
毎夜飽かずに火をかざして  
まっしぐらにわたしのところへくるのです

## はね橋

明けがたの  
浅い眠りのなか  
夢ともつかず うつつともつかず  
まぶたの裏のはるか彼方で  
音もなく ゆっくりとあがる  
はね橋がある  
ふしぎだ  
つい先頃までは  
踏切りの遮断機のようなものが  
目の前にガシャと降りてきて  
血の色をしたシグナルが  
目まぐるしく点滅し  
警報器がやかましく鳴りたてていたのに  
橋の下には流れがあって  
エンジンの音をのどかに響かせながら  
通ってゆく川船もあるのだろう  
いずこへ通じる水路なのか  
空も水も  
眠たげな春の霞にぼかされていて  
杳として見きわめがたいが  
お通り すきな時にお通り  
というように  
遠い処で 今朝も  
ゆっくりと 音もなく  
はね橋があがる



VIDEO, RECORDING, DESIGN  
株式会社 サウンドスタジオ OKA  
〒606 京都市左京区下鴨半木町70  
☎(075)712-5710 FAX (075)721-0835



私達スタッフは、皆様とのコミュニケーションを大切に実績ある技術で今宵のコンサートのCD制作を担当しております。



システム設計・販売・サポート・出力サービス  
**OKA GRAPHIC CENTER**  
〒606 京都市左京区下鴨半木町70  
☎(075)711-6155 FAX (075)711-6758



# ミュージックツアーの 専門セクション ライブデスク

JTB社内で唯一の音楽旅行のセクションが **ライブデスク** です。  
創立以来20余年、多数の経験と実績を誇る音楽に詳しいスタッフが皆様のご用命をお待ちしています。

**ライブ** ツアーにはザルツブルグ音楽祭やウィーン・ニューイヤーコンサートなどを訪ねる「鑑賞旅行」と、演奏旅行・音楽視察旅行・研修旅行などオーダーメイドの音楽ツアーがございます。

## オーダーメイドツアーの取扱実績

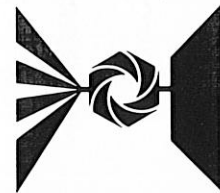
同志社グリークラブ、慶應義塾ワグネルソサイエティー、中央大学などプロ・アマチュアの演奏旅行、東京FMなどマスコミの音楽研修旅行、地方自治体の海外演奏会場視察旅行など多数。

詳しいパンフレット・問い合わせ先

**JTBライブデスク**  
JTB海外旅行虎ノ門事業部内  
TEL: 03-3504-2013  
FAX: 03-3504-0735  
〒105 東京都港区虎ノ門1-26-5  
虎ノ門17森ビル7F

## きらめく瞬間を未来に伝えたい。

あなたのきらめくその一瞬を素敵にとらえる。  
未来に残す価値ある記念写真をお届けするために、  
いつもいっしょうけんめいのお阪フォトサービスです。



**OSAKA PHOTO SERVICE**  
株式会社 大阪フォトサービス

〒550 大阪市西区江之子島1丁目5-17 TEL.(06)443-7608(代表) FAX.(06)443-4437



## 神戸女学院大学コーラス部第35回定期演奏会

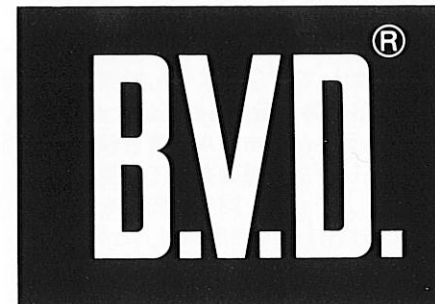
- |                                       |                   |
|---------------------------------------|-------------------|
| I. MESSE 作曲/ALFRED TOEPLER            | 指揮/大西 綾 伴奏/片桐 聖子  |
| II. 女声合唱とピアノのための「女の肖像」                | 指揮/植山愉美子 伴奏/阿形有里子 |
| III. 企画ステージ「ミュージカル"ME AND MY GIRL"より」 | 指揮/大西 綾           |
| IV. 女声合唱組曲「水のいのち」                     | 指揮/大西 綾 伴奏/由井 敦子  |

1995年3月1日(水) 開場17:00 開演 17:30

神戸文化大ホール

<連絡先> 松本幸代 (0798) 54-2610

"Next to myself I like 'B.V.D.' best"

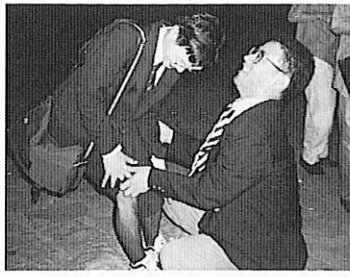


**フジボウ**

## fujibo 富士紡績株式会社

本社 〒103 東京都中央区日本橋人形町1-18-12  
TEL 03-3665-7777  
支社 〒541 大阪市中央区平野町4-1-2  
(大阪ガスビル北館8階)  
TEL 06-205-5700

今日のちよいぐり



新歓オリエンテーション 4/1~7

入学式の際、プレザーとGパンだったため誰にも相手にされなくて嘆いていた私は、突然ゴツイ紺ブレ2人組に声をかけられた。ああ、これが校歌を歌って人達か。え、男声合唱?やだなあとは思ったが、キリスト精神を發揮して紺ブレ達の集う巣へについて行った。そこで何曲か聴いた後いきなりの「入れコール」にビビりまくり、つい夕食会には行くと返事してしまっ。夕食会へつれて行かれる道中、何かとつもない間違いを犯してしまったのではないかと不安に駆られていた私は、某S藤先輩にありとあらゆる甘言を吹き込まれ、ついには「ウチは伝統があるからOBの援助で1万円程で演奏旅行にも行けるぞ...ヨーロッパにもね」と来た。成る程、と感激した私は夕食会後の「入れコール」にた易く陥落したのだった。こうして私は紺ブレになったのです。皆さんも気をつけましょう。余談ですが、ヨーロッパ演奏旅行費用は約十万円でした。そりゃねえぞ。

(Bass. I まつだしん)

六連運動会 5/3 晴れ

今日は、待ちに待った六連運動会でした。同グリに入部して一ヶ月、初のイベントです。応援に女子大が来るなんて、何て幸せなんだろう。クラブ全体がいつになくソワソワしているようでした。Bri. III U先輩はヤル気満々。そのヤル気が、クラブの士気を高め、そして、応援女子大、ダム女の方々の悩殺応援が効を奏し、同グリ優勝。「同グリに入部してよかったなあ。」と、つくづく思いました。運動会のあとは、打ち上げコンパ。僕はお酒が弱いので、コンパはあまり好きではありません。まわりでは、先輩や友達が楽しそうに女の子と話しています。仕方なしに、少しだけ飲みました。それにしてもダム女はいい人ばかりです。僕は隣の人のお色気に負けて沢山飲んでしまい、大いに酔って、帰るのが大変でした。でも、楽しい一日でした。ノートルダム女子大の皆様、本当にありがとう。(Sec. I H氏の日記「僕の Glee life」より抜粋)

(Sec. I 畑)

京都合唱祭 5/29

同グリの団員が一人として来ていない京都会館第一ホールで、グリーンメン代表の5人が、オープニング・パフォーマンスに登場し、見事に会場を笑いの渦に巻き込んだのである。さて、演奏の方は、荘厳な雰囲気を出した「Ave Maria」と、黒人霊歌である「Didn't My Lord Deliver Daniel」の2曲を演奏し、今度は会場を、拍手と「ブラボー」の嵐で充満させたのである。また、演奏会後に行われたパーコン・鴨川の集い(?)で、我らグリーンメンによる三条大橋の下での大熱唱により歩行中のみなさんや、鴨川のアベック達を興奮させたのである。(Bass. II Y元)

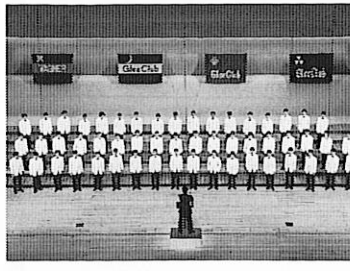
東西四大学合唱演奏会 6/26 (大阪フェスティバルホール)

東西4連一日本の大学合唱界を牛耳ってきた早慶同関の4校が一堂に会する合唱界の一大イベントである?!今年も同Gがトリということで気合いをいれて望んだ。しかし、トリということは早慶関の後、つまり失敗は許されないのである。ましては、一つ前はコパケン指揮する早Gの「水のいのち」。それに対して同Gは本やん指揮する「大作曲家による東ヨーロッパ民謡」。演奏前の予想では早G優勢が伝えられていたが、「りぐめんもとんぶしゃげりちえ」と、マジヤル語がフェスティバルホールに響き渡った瞬間、観客は我等の演奏に酔った。この演奏で我等は言葉にしがたい感動を得て、見事、トリを努めたのであった。そして、その夜の打ち上げは盛り上がった。同Gが先陣を切った「洗濯屋」は計10名を超え、また、本やんも会場に見えられ、「ひでき感激!!」と発言され、200名の男どもは一年後の東京での再会を誓い、救急車で運ばれていくのであった。ピーポーピーポー (Bari. II みずのたけし)

祇園祭 7/17

「祇園祭の歌の声、鼻腔共鳴の響きあり」同志社グリーンクラブは毎年祇園祭の山鉾巡行に太子山の曳き手として参加しています。日本民謡を景気づけに歌ってから出発するのですが、雨が続いた昨年、一昨年とは異なり今年は朝から晴れ間が広がり、幸先のよい始まりだと思っておりましたが、皆さんもご存じのように今夏は猛暑に次ぐ猛暑。もちろん当日も例外ではありませんでした。しかし確かに暑いとは言え、祇園祭の熱気と興奮の前では猛暑など焚き火のそばのマッチの火のようなものです。けれど、グリーンメンにはこの2つの熱に参ったようでした。汗にまみれるし、のどは渴くし、筋肉痛にはなるし、いやはや祇園祭に参加するのも大変なことだ。」と、ここまで書いて私は筆を置いた。Sは私の原稿を見て言った。「よく言うねえ。あちこち走りまわって写真を撮っていたくせに。なんだかんだ言って来年も出たいんでしょ。ほら、顔が赤くなってる。」

(Bari. III あつし)



コンパ募集のお知らせ... 私たちグリーンメンは素敵な女性との出会いを求めています。年齢、職業不問です。我こそはと思われれる貴女、まずは三回生外政まで。

夏期演奏旅行 7/28~8/1 (日田市・宇部市)

私達は毎年夏休みを利用して演奏旅行を行なっています。これは関西以外の方々に私達の演奏を聞いてもらうためのものであり、同時に1回生、そして副指揮者のデビューステージでもあります。今年、九州から中国地方にかけて行ないました。1回生はみんなやや緊張ぎみでしたが見事に歌いきり自信を深めたことと思います。副指揮者の上野大介(実名)さんもデビューステージとは思えないほど立派なもの(素人の私が生意気にもかってに評価していません)で輝いていました。又、九州直方市においては「祭」に参加しフィナーレでは現地のスタッフの方々と We Are The World を感動のあまり部員一同号泣しながら叫んでいた事を思い出します。さて来年はいつこの地に私達は歌いにいくでしょうか。もしかしたらあなたの故郷にいくかもしれません.....

追伸 上野さん、1回生の皆さん、ソーラン節とびだしてゴメンなさい。深く反省しています。(Sec. II N山)

夏合宿 9/7~12 (志賀高原)

夏合宿は、別名「合唱の尻の穴」と呼ばれており(?)、グリーンメンにとっての大きな試練である。俗世から遠ざかり、食う・寝る・歌うを数日間繰り返す。その練習はとてもハードで、あまりの練習の厳しさに、喉を潰す者、血を吐く者、呼吸がヒューヒューという者が続出した。今年、ホテルに猿が乱入するというハプニングが起こったが、充実した練習の日々を過ごし、実力もかなりついたと思われる。そして最終日。毎年恒例のあれが。今年のあれは、Sec. 4回生のS野さんの獅子奮迅の活躍のおかげ(?)で大成功に終わった。その後は、深夜の2回生による演奏大会が行なわれた。芸の内容はとても濃く、様々な傑作な芸が披露された。中でも「けんたろう物語」は、Top. 2回のF井の隠された日常生活の一部を再現した、不朽の名作であった。興味のある方は、Top. F井まで御連絡を。

余談だが、Bass. 2回生のK介の脚線美には驚かされた。(Sec. II K口)

関西六大学合唱演奏会 11/3 (フェスティバルホール)

同志社、立命、関大、阪大、関学、甲南の六大学の男声合唱団がつくる関西六大学合唱演奏会は、21回目も大成功のうちに終わった。ちょうどこの時期に行われるコンクールには参加せず、あくまでも独自の活動を展開する六連、その演奏会は、社会的注目度も高く、多数の聴衆が訪れる。そんな六連演奏会は、同グリの本領発揮の場である。殊に、本年度は、NHK-FMでの全国放送が予定されているので、新鮮な緊張感が湧いて来るではないか。そうそう、1回生にとっては、六連演奏会が初の大舞台となるのだ。ここで、あるTOP. の1回生、「少し緊張して来ました。」

私の心、「何をぬかすが、再オーディションすっぽかしてゲーセン行ったやつが。ま、その位、度胸あった方がえんちゃうの?ほんまか。」 (Top. II N森)

全同志社メサイア演奏会 12/24 (京都会館)

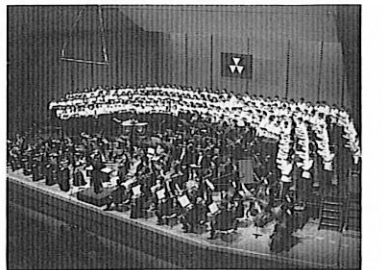
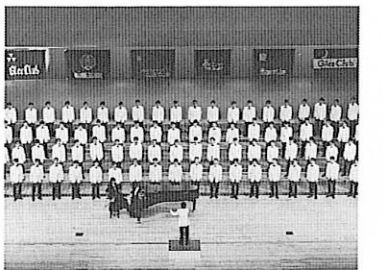
定演の興奮も冷めやらぬ中、クリスマスの日に京都会館第一ホールで行われるこの「全同志社メサイア演奏会」も今年で記念すべき30回目を迎えました。今年指揮者に井上道義先生、そして新たなソリストとして関東から釜洞・宮原両先生をお迎えし、さらに合唱の方も、去年以上に気合いの入った練習をしています。ですから、私は今から今年のメサイアがとても洗練された素晴らしい演奏会になるものと確信しています。ところで今年京都会館で行われるメサイアとしては最後の年ということもあるので(予定)、グリーンクラブ一同(?)皆様への素敵なクリスマスプレゼントとなるよう、心をこめて、そしてイスに座っている時に決して眠らないよう一所懸命歌いますので12月24日は是非御来場下さい。(Bass II H)

フェアウェル 2/10 (同志社大学学館ホール)

フェアウェルコンサートは、4回生にとって本当に最後のステージであり、まだまだ楽しいぐりライフ?を続けたいと思っても、このコンサートを最後に無理矢理卒団させられてしまうのです。

このコンサートは、在団生、卒団生それぞれのステージと合同ステージ、そして記念式典という構成になっていて、在団生のステージでは、4回生が抜けて初めてのステージになるので、毎年4回生が安心して卒団できるように頑張りますが、改めて4回生の偉大さに気付かされます。また、卒団生のステージは、このコンサートのメインであり、普段の同グリーの演奏会では決して見ることでできない企画ステージもあり、毎年笑いのあふれるステージで超おススメです。まだフェアウェルコンサートに来られていない方も、ぜひ同志社学生会館ホールにいらして下さい。きっと満足のいくことと思います。

(Top. III S)



今日のちよいぐり

お座敷(外部出演)のお知らせ... 各種イベントを鮮やかに彩ります。まずは、各種イベント(冠婚葬祭、レセプション、パーティー等)にてコーラスでお手伝い。075125113185(呼)同志社グリーンクラブBOXまで

# TAMA - HIME - DEN

ちょっと気取ったパーティー・プラン  
お一人様¥6,500 (飲み放題)より



 **梅田玉姫殿**  
〒530 大阪市北区鶴野町4-16  
TEL (06) 374-3333代

# 情報咀嚼カンパニー。

たったひとつの情報でも噛み砕いていくと、  
新しい価値が見つかります。  
情報を「より味わいのあるカタチ」に変える——  
「アイデアと技術」という  
咀嚼パワーを誇る双林印刷社におまかせください。



アイデアと技術で情報産業を担う

## 株式会社 双林印刷社

本社・工場 〒601 京都市南区新千本通十条下ル  
Tel (075) 681-7748 Fax (075) 672-5602  
大阪営業所 〒530 大阪市北区西天満3丁目1番5号英和ビル902  
Tel (06) 311-0489 Fax (06) 311-0493

**FREE WAY**  
フリーウェイ

**NET**

日本教育旅行

☎ 075(351)0405

文化系 体育系 テニス  
サークルどんなクラブでも  
合宿のことなら  
日本教育旅行に  
ど〜ん とお任せ下さいませ。



京都市下京区下珠数屋町通東洞院東入  
日本教育旅行株式会社  
☎ 075(351)0405

同志社グリークラブ第90回卒団生のための

# フェアウェル コンサート

平成7年2月10日(金)

開演：午後6時(予定)

於：同志社学生会館ホール(入場無料)

お問い合わせ/グリークラブBOX ☎075-251-3185(呼)

同志社グリークラブ

第90回同志社グリークラブ定期演奏会OB協賛芳名録

今回の定期演奏会の開催にあたり、下記の先輩方の協賛を頂きました。誌上ではございますが、この場にて厚く御礼申し上げます。

同志社グリークラブ

Table listing members and roles: 幹事, 副幹事, 外, ステージ, 会, 計, サブ, 演奏旅行, 資料担当, OB担当, 文連常任委員会, メサイア実行委員会, 学生指揮者, Top Tenor Part Leader, Second Tenor Part Leader, Baritone Part Leader, Bass Part Leader.

TOP TENOR

Table listing Top Tenor members and their affiliations: 東光彦(商4), 川島伸規(商4), 小林武弘(工4), 森俊樹(文4), 梶原亮(神3), 久堀太士(経3), 角由久(商3), 藤井健太郎(法2), 池永洋介(文2), 長森太郎(文2), 矢野貴久(経2), 小林香太(経1), 和歌山県立向陽, 郁文館, 済々黷, 川西緑台, 春日丘, 北大和, 黒瀬誠(商1), 松井和雄(経1), 坂本和之(経1), 山崎仁(文1), 近大附属, 明德義塾, 高松西, 大阪貿易学院.

SECOND TENOR

Table listing Second Tenor members and their affiliations: 人見幸朋(法4), 岩佐圭記(法4), 川西裕之(商4), 坂野友紀(法4), 亘幸洋(工4), 平谷有祐(工3), 園田誠(工3), 高津智宏(工3), 富田尚(経3), 川口裕之(工2), 中山聡(経2), 立原太(文2), 田栗雅晴(工2), 畑克延(文1), 愛知, 高松第一, 清風, 暁, 近江兄弟社, 金蘭千里, 春日丘, 三由直樹(商1), 中村誠司(法1), 中根彰宏(商1), 西山英樹(文1), 岡田平八郎(文1), 三国丘, 鳥取西, 北陸, 西南学院, 雲雀丘学園.

BARITONE

Table listing Baritone members and their affiliations: 足立義臣(文4), 荒川剛(法4), 土井邦康(経4), 長谷川宏志(法4), 小寺康治(商4), 吉武晃(工4), 千神敏正(文3), 福栄貴史(工3), 福原敦士(法3), 上野大介(経3), 宇都康之(商3), 本多慎司(商2), 御堂甚昌(工2), 水野武司(法2), 三島, 大阪貿易学院, 春日丘, 新南陽, 京都府立向陽, 北野, 瑞陵, 坂田善弘(商2), 関安記臣(法2), 安池尚志(経2), 角谷武志(法1), 西田啓(商1), 都築洋(商1), 米山博哲(神1), 春日丘, 紅南, 静岡東, 摂陵, 春日丘, 春日丘, 伊那北.

BASS

Table listing Bass members and their affiliations: 迫謙祐(法4), 佐藤嘉和(文4), 白川行宏(経4), 平山直之(経3), 佐藤利宏(工3), 浦川和弘(経3), 山田正樹(工3), 藤井啓介(商2), 広瀬圭一(工2), 中谷統久(法2), 田中幹人(商2), 山元進(文2), 山名直明(神2), 入江隆生(経1), 岡山, 名古屋市立向陽, 近大和歌山, 宇和島東, 同志社, 和歌山県立桐蔭, 三島, 河合真人(法1), 河合隆裕(商1), 松田心(文1), 森田大介(商1), 豊田明朗(文1), 吉岡康典(経1), 豊橋南, 豊橋西, 明倫, 敵傍, 真岡, 近大附属.

Main table listing members by graduation year from 大正15年卒 to 昭和9年卒, 10年卒, 12年卒, 21年卒, 24年卒, 26年卒, 27年卒, 28年卒, 29年卒, 30年卒, 31年卒, 32年卒, 33年卒, 34年卒, 35年卒, 36年卒, 37年卒, 38年卒, 39年卒, 40年卒, 41年卒, 42年卒, 44年卒, 46年卒, 48年卒, 50年卒, 51年卒, 52年卒, 53年卒, with names like 津下統一郎, 下西善治郎, 中村信一, etc.

※尚、印刷の切の関係上、掲載できなかった先輩方もおられます。

SPECIAL THANKS

編 集 後 記



久保太士

入部して、色々バカな事もやりましたが、外政という役職につき、今まで本当にたくさんの方々に出会いました。全ての皆様に感謝致します。ありがとうございました。



佐藤利宏

何をしたということもなく、何もしていないこともない。チーフの坂野さんをはじめ、多くの方々にお世話になりました。心から感謝しています。多謝各位。

最後になりましたが、このパンフレットの制作にあたりまして原稿を快く執筆して下さいました諸先生方、広告主の皆様、双林印刷社の垣東様、その他当演奏会に御尽力賜りました方々、そして本日御来場頂きましたお客様に厚く御礼申し上げます。今後とも同志社グリークラブを宜しく願い申し上げます。

1994年 12月 同志社グリークラブ  
マネージャー 同

第30回全同志社メサイア演奏会

Messiah

1994.12.24(土) 京都会館第1ホール

指揮 井上道義

開場 17:30 開演 18:00 主催 全同志社メサイア演奏会実行委員会

〈お問い合わせ〉同志社グリークラブ・同志社交響楽団BOX 075 (251) 3185 (呼)



三崎商事グループ

ジェニージャパン株式会社 ビブロスジャパン株式会社 三崎商事株式会社

代表取締役社長 三崎 政二

東京/東京都港区南青山2-5-17 ポーラ青山ビル7F 03-3403-4371  
大阪/大阪市中央区南船場4-2-4 日本生命御堂筋ビル5F 06-251-1171

今日のちよいぐり

来る2月14日、三回生以下は欧州演奏旅行に旅立ちます。彼氏のイナイ方、チョコを持って園空へゴー！  
Top 欄以下お待ちしてください。